

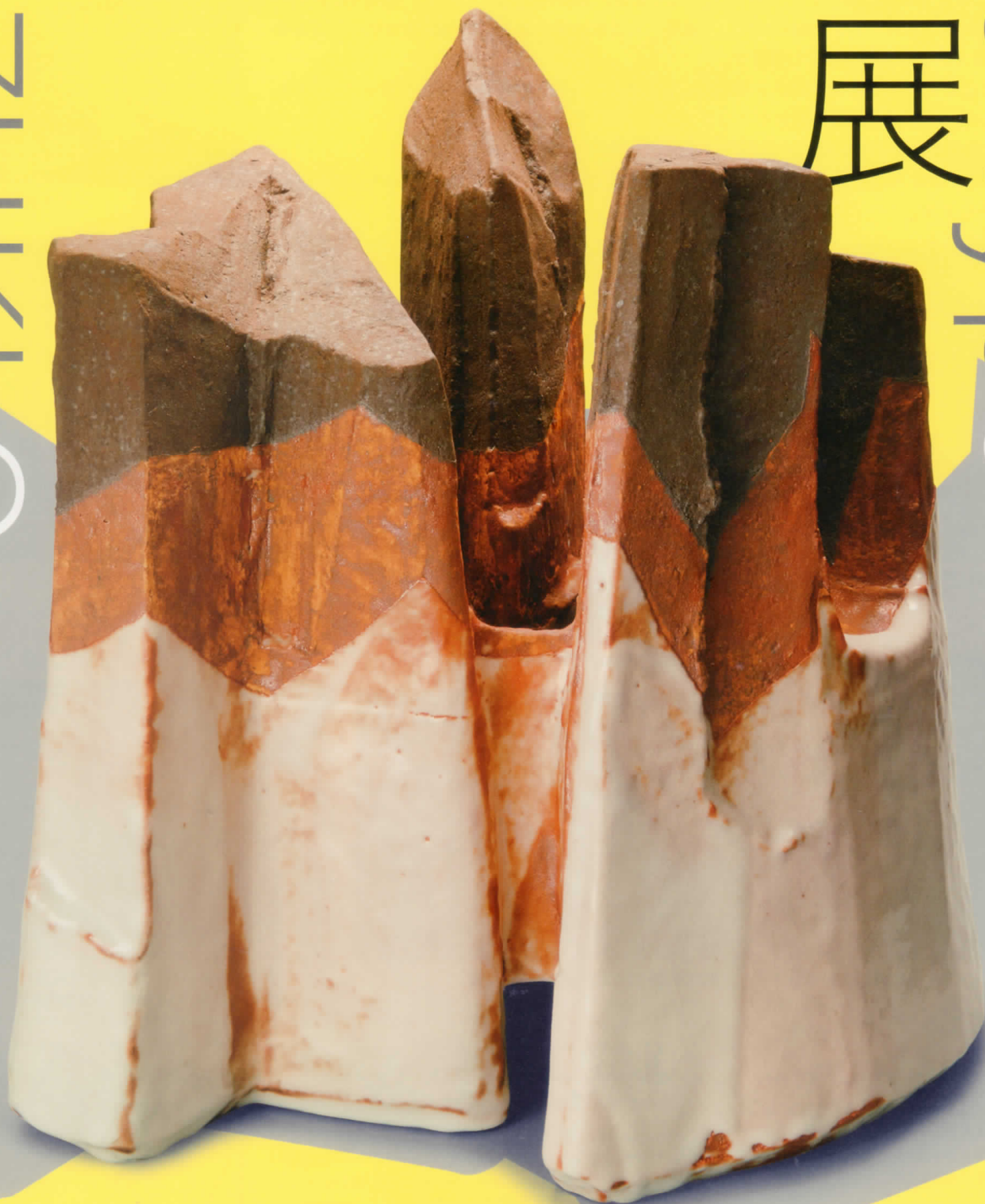
鈴木藏の志野展

2024.3/19[火]→6/2[日]

March 19 – June 2, 2024

人間国宝
卒寿記念

by SUZUKI Osamu,
a Living National Treasure: In commemoration of his ninetyeth birthday



鈴木 藏
《志野陶塑》2018年
個人蔵

開館時間：9:30～17:30(入館は閉館の30分前まで) 休館日：月曜日(4/1,8,29,5/6は開館)、5/7(火)

主催：国立工芸館、NHKエンタープライズ中部、北國新聞社

Hours: 9:30 – 17:30 Last admission is 30 minutes before closing. Closed: Mondays (except April 1, 8, 29 and May 6), May 7

Organizers: National Crafts Museum, NHK ENTERPRISES, INC. Nagoya Branch Office, The Hokkoku Shimbun

国立工芸館
National Crafts Museum

鈴木藏の志野展

Shino Type by SUZUKI Osamu,
a Living National Treasure: In commemoration of his ninetieth birthday



日本を代表する陶芸家、鈴木藏(1934-)。荒川豊蔵(1894-1985)に続き二人目の「志野」における重要無形文化財保持者(人間国宝)です。

鈴木藏は岐阜県土岐市に生まれ、多治見市市之倉町の丸幸陶苑に勤務する父の助手として働く中で、本格的にやきものづくりの道へと進むことになります。1966年31歳で独立し、薪窯でしか焼けないとされていた「志野」にガス窯で挑戦し、自然への畏敬の念を重んじ、伝統を大切にしながら独自の作陶スタイルを確立していきます。

「志野には日本人の美意識の独特さと素晴らしさがある」と語る鈴木藏。作品を作るなら「新しく、力強いもの」という姿勢を崩さず今日まで取り組んできました。

2024年に卒寿を迎えるのを機に、初期から最新作までの作品を一堂に展示します。

古典の大切さに鈴木藏の美意識を映し出した独自性に富んだ作品を展示し、鈴木藏の軌跡と“今”をご紹介します。



鈴木藏氏近影



鈴木藏《志野茶碗》2013年 国立工芸館蔵



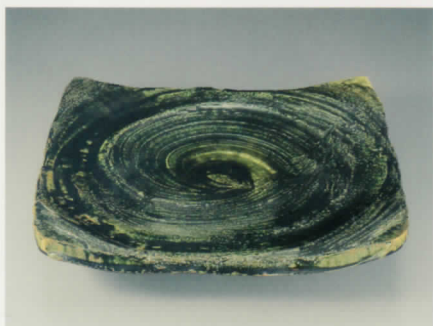
鈴木藏《志野陶壺》2022年 個人蔵



鈴木藏《志野茶碗》2019年 個人蔵



鈴木藏《鉄釉鉢》1967年 京都国立近代美術館蔵



鈴木藏《織部大皿》1972年 個人蔵

桃山時代を代表する
名碗を特別展示!



重要文化財《鼠志野茶碗 銘 峯紅葉》
桃山時代/16~17世紀 五島美術館蔵

観覧料:

一般1,000(900)円 大学生600(500)円

* ()内は20名以上の団体料金および割引料金。

* いずれも消費税込。

* 高校生以下および18歳未満、障害者手帳をお持ちの方と付添者(1名)は無料。

Admission:

Adults ¥1,000 (900)

College and University students ¥600 (500)

*The price in brackets is for the group of 20 persons or more and for discount coupon holder.

*All prices include tax.

*Admission is free for high school students and under 18. Persons with disability and one person accompanying them are admitted free of charge.

国立工芸館 National Crafts Museum

〒920-0963 石川県金沢市出羽町3-2

お問い合わせ: 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

3-2 Dewa-machi, Kanazawa-shi, Ishikawa 920-0963

Information Service: 050-5541-8600

www.momat.go.jp/craft-museum

アクセス:

[バス] JR金沢駅兼六園口(東口)より乗車「広坂・21世紀美術館」下車徒歩7~9分または「出羽町」下車徒歩5分

[車] 北陸自動車道金沢西ICまたは金沢森本ICから20~30分 *近隣に文化施設共用駐車場(無料)があります。

Access: By Bus/ At JR Kanazawa Station, go out Kenrokuen Gate and use Hokutetsu Bus, get off at "Hirosaka, 21st Century Museum" and walk 7 to 9 minutes or get off at "Dewa-machi" and walk 5 minutes.

By Car/ 20-to-30-minute drive from the Kanazawa-nishi IC or Kanazawa-Morimoto IC on the Hokuriku Expressway.

*Use the free parking lots shared by the nearby cultural facilities.



詳細はこちら→



a Living National Treasure: In commemoration of his ninetyeth birthday

boy SUZUKI Osamu,

人間国宝
卒寿記念

鈴木藏の志野展

2024. 3/19[火]→6/2[日]
March 19 - June 2, 2024

Shino Type



鈴木 藏
《志野陶塑》
2018年
個人蔵

開館時間：9:30～17:30(入館は閉館の30分前まで)

休館日：月曜日(4/1,8,29,5/6は開館)、5/7(火)

主催：国立工芸館、NHKエンタープライズ中部、北國新聞社

Hours: 9:30 - 17:30 Last admission is 30 minutes before closing.

Closed: Mondays (except April 1, 8, 29 and May 6), May 7

Organizers: National Crafts Museum, NHK ENTERPRISES, INC. Nagoya Branch Office,
The Hokkoku Shimbun

国立工芸館

National Crafts Museum

当日券(一般) 1000円(税込) Adults

切り離し無効 Invalid if detached

展覧会参考図書 卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展

会期: 2024年3月19日-2024年6月2日

開催中の展覧会に関する参考図書です。アートライブラリでご覧いただくことができます。

【鈴木藏に関する資料】

1. 鈴木藏の志野展：人間国宝：卒寿記念 / 国立工芸館, NHKエンタープライズ中部編集
名古屋：NHKエンタープライズ中部, 2024.3 ★本展公式カタログ
2. 鈴木藏の志野：造化にしたがひて、四時を友とす / 菊池寛実記念智美術館編集
[東京]：菊池美術財団, c2020
3. 流旅転生：鈴木藏の志野 / 菊池寛実記念智美術館編
[東京]：菊池美術財団, c2010
4. 人間国宝鈴木藏展：不二の志野
[大阪]：高島屋, 2009.10
5. 鈴木藏展：四時友遊
[東京]：三越, [2004]
6. 志埜：人間国宝鈴木藏展 / 日本経済新聞社編集
東京：日本経済新聞社, c2001
7. 鈴木藏陶芸展：人間国宝 / 香林坊大和編
[金沢]：香林坊大和, 1997.2
8. 鈴木藏展 / 田中愛子編
[東京]：高島屋美術部, c1993
9. 美濃陶芸6人の人間国宝展：特別企画展：東濃信用金庫創業100周年記念事業 / とうしん美濃陶芸美術館, 金子賢治, 與語小津恵編集
[多治見]：東濃信用金庫, 2022.1
10. 特集: 鈴木藏の「志野茶碗」(淡交 74巻12号 通巻928号)
京都：淡交社, 2020.12
11. 工芸技術・陶芸 5: 荒川豊藏/鈴木藏(週刊朝日百科. 週刊人間国宝 23号)
東京：朝日新聞社, 2006.11
12. 特集: 志野 温かさに満ちたやきもの/現代の志野に出会う：人間国宝鈴木藏氏による(なごみ：茶のある暮らし 27巻2号 通巻314号)
京都：淡交社, 2006.2
13. 巻頭特集: 美濃繚乱/アトリ工陶談：鈴木藏(炎芸術 21巻69号)
東京：阿部出版, 2002.2

14. 巻頭特集：人間国宝鈴木蔵の志野焼 (炎芸術 15巻45号)

東京：阿部出版，1996.1

15. 鈴木蔵 = Osamu Suzuki / 鈴木蔵著 (陶：The best selections of contemporary ceramics in Japan ; Vol.95)

京都：京都書院，1993.7

【志野・桃山陶芸に関する資料】

16. 志野 (日本の陶磁 / 林屋晴三責任編集；2)

東京：中央公論社，1974

17. 動き出す志野 (炎芸術 41巻1号 No. 150)

東京：阿部出版，2022

18. 特集：やわらかな志野：豊藏・唐九郎・魯山人と桃山から現代まで (炎芸術 27巻3号 No. 96)

東京：阿部出版，2008.11

19. 美濃 / 伊藤嘉章, 唐澤昌宏文 (窯別ガイド日本のやきもの)

京都：淡交社，2003.8

20. 桃山の茶陶 / 矢部良明, 竹内順一 編, 伊藤嘉章著 (やきもの名鑑；2)

東京：講談社，1999.3 ★重要文化財「鼠志野茶碗 銘 峯紅葉」の解説あり

21. 黄瀬戸瀬戸黒志野織部 --美濃の茶陶：サントリー芸術財団50周年 / 安河内幸絵 [ほか] 編集；マーサ・マクリントク英訳

[東京]：サントリー美術館，2019.9

22. 荒川豊藏と加藤唐九郎：桃山陶の美に魅せられた二人の軌跡：没後20年 / NHK中部ブレイズ編

[名古屋]：NHK中部ブレイズ，2004.4

23. 桃山陶に魅せられた七人の陶芸家：陶片に学んだ技と美

[名古屋]：中日新聞社，c2003

24. 昭和の桃山復興：陶芸近代化の転換点 / 東京国立近代美術館編集

東京：東京国立近代美術館，c2002

25. 桃山陶芸の華展：黄瀬戸・瀬戸黒・志野・織部 / 伊藤嘉章 [ほか] 企画・監修；NHK名古屋放送局，NHK中部ブレイズ，NHKプロモーション編集

[名古屋]：NHK名古屋放送局，2000.5

26. 変幻自在の織部 (炎芸術 42巻2号 No. 155)

東京：阿部出版，2023